

石岡 敬三

自然エネルギーから適正技術へ

⑧ わたしはストーブだ in ひろしま

今年11月11日12日「私はストーブだ！ in ひろしま」開催します。ちょっと変わった名前のイベント「私はストーブだ！」。韓国での提唱者キム・ソウォンさんは名前の由来についてこんなことを言いました。

ひとつ、私がストーブであるということは電気及び電力会社から自立するということ。

ふたつ、私がストーブだと言うことは隣の人を温めることができると言うこと。

みっつ、私がストーブであると言うことは私自身が技術であると言うこと。

それは産業社会の中で、失われた適正技術(1)に通じる手仕事や、自給のための技術を取り戻し、豊かな暮らしを自ら作るということ。2014年に第1回を開催した「わたしはストーブだ in ひろしま」今回は第4回目になります。

このイベントはロケットストーブがきっかけで始まった世界的な手作りストーブのブームですが、日本各地で手作りで作られた様々なストーブを持ち寄り、マイストーブを自慢したり、ストーブの技術的な交流をしたりしながら手作りストーブ文化がより深まり、温かい交流の場ができればと言う趣旨のイベントです。

きっかけは韓国への旅で出会ったキム・ソウォン氏との出会いでした。彼は韓国での手作りストーブや適正技術のキーパーソン、韓国での「私はストーブだ」というイベントの仕掛け人です。その後日本でも開催したいということで同じ名前を使わせてもらい2014年3月に第1回を開催しました。特別ゲストのキム・ソウォン氏には「適正技術と手作りストーブ」についてのプレゼンテーション、そのほか、もう一人韓国から大工でオンドルの技術者のユンチルさんの講演、東洋医学にも精通していて医学的見地からオンドルについての効能や仕組みのプレゼン、そのほか、地元広島で農業普及員としてオンドルを作っていた時期がある女性のお話などを交えての日韓ストーブ交流会を楽しく開催できました。イベント後にはヨーロッパの石で作るストーブ(メイソンリーヒーター)のワークショップも行いました。

その後回を重ね第3回目には本家アメリカの「ロケット・ストーブ」(アメリカでは版を重ね現在はタイトルがロケット・マス・ヒーターになっています)の共同著者レスリー・ジャクソンさんを招き、ロケット・マス・ヒーターの発明者イアント・エバンスさんのストーブ誕生秘話なども交えてながらの楽しい交流の場を持つことができました。

次回第4回目は数ヶ月前に民主的な素晴らしい大統領を誕生させた韓国からイ・ジェグアンさん、彼は田舎で暮らし、転換技術社会的協同組合を運営し、除草剤やプラスチック、機械を使わない農業でできた農産物の取引や、学生たちに適正技術のワークショップなどを行ったりと活発な活動を行っています。彼に聞きたいのはなぜ韓国で適正技術に興味を持つ人たちがたくさんいる背景や地域でどう言う仕組みを作り普及をしているのか、その方法などを聞きたいと思っています。またイ・ジェグアンさんは「絵で見る火とかまどとストーブのはなし」と言うブックレットをもちだされています。本の内容はキム・ソ



ウォンさんが講演で話されている内容をとてもわかりやすくまとめたような本で全ページ素敵なイラストがありとても読みやすい本になっていて、手作りストーブのバイブルになりそうな本です。※この本の日本語翻訳本を現在日本ロケットストーブ普及協会から出版準備中です、乞うご期待。

もう一人の韓国からのゲストはキム・ヨンジュさん、彼は何度も来日し、日本各地を回り、何箇所かでかまどを作ったり、私たちと一緒にオンドルを作ったりした仲間です。

それと忘れてはならないのは熊本在住のキム・ヒョヌさん(オハイオ)彼とは最初に韓国に行く時にガイドと通訳をお願いしたことからキム・ソウォン氏との縁、韓国とのオルタナティブな縁に繋がりました。彼はストーブだけではなく韓国のフリースクールやオルタナティブなコミュニティーなどを回るツアーガイドをしながら自分たちでも日本でオンドルを普及する活動なども行ったりとアクティブに活躍しています。今回も通訳をお願いします。

そんな韓国チームと一緒にストーブを作る作るワークショップも計画予定。

もう一人のゲストは寒い東北岩手県からのゲスト自称「薪割りリスト」の深澤光さん、薪を使った楽しい暮らしを提唱している人です。薪暮らしの関する著書も多数ある人です。彼の一番オススメのストーブは蓄熱式薪ストーブです。日本ではまだまだあまり知られていないストーブですが、とても熱効率がよく薪の消費量も少ない優れたストーブです。世界的にはメイソンリーヒーターと呼ばれているレンガを組んで作る蓄熱式ストーブの魅力、そして絵本の世界にも精通されていて、絵本の中に登場する薪のある暮らしの紹介、そして日本で薪で暮らすことについての森林問題など幅広く薪暮らしについてのお話を聞きます。

著書:「薪割り礼賛」、「薪のある暮らし方」、「薪割り紀行」、「薪暮らしの愉しみ」など

第4回目の詳しいスケジュールや内容については現在組み立て中ですが、マルシェや手づくりストーブの出店予約は今から受け付けています。

□ 手作りストーブの出展募集
※ストーブだけではなく暮らしで使える適正技術の道具の出品も募集します。

条件として、自慢のストーブの販売も可能ですが、技術を公開できるものに限りです。オープンソースで手作りストーブ文化の進化発展を望みます。

□ 適正技術の道具の出展募集

□ マルシェ出店募集 ※食べ物については薪を使った食べ物、薪を使って加工したパンやお菓子も含まれます)

日時 1017年11月11日(土曜日)12日(日曜日)

場所 広島県三次市甲奴町

カーターシビックセンターおよびウィングドーム

今後詳しい内容スケジュールなどは決まり次第こちらのフェイスブックにアップ予定

<https://www.facebook.com/watashiwastove/>

お問い合わせは「私はストーブだ in ひろしま事務局」まで
watashiwastove@gmail.com

080-5624-8747

